

木鼈子

青至熟深紅色、每房有子五七枚如皂莢子、斑褐色といひしは、これと同名異物也、

〔山槐記〕治承二年六月廿八日辛卯、中宮德子○高倉后、御懷妊當五ヶ月、仍有御著帶事、初度也、○中御著

帶之後、典藥頭和氣定成朝臣、衣冠、男主、脱頭、持參、納折櫃、不居於高杯、自臺盤所方獻之、中

將局取之縫付御帶左方、

○按ズルニ、仙沼子ヲ著帶ノ時ニ用ケル事ハ、禮式部誕生祝篇著帶條ニ載ス、

〔多識編二蔓草〕木鼈子古可米久左、異名木蟹、

〔重修本草綱目啓蒙十四蔓草〕木鼈子 一名木別子遵生八牋 土木鼈 土鼈共本經逢原、外科正宗ニ土鼈

ト名ク、同 正木鼈原本始

和産ナシ、舶來ノ者ハ核ノ形ツルレイシ錦荔枝核ニ似テ大也、長サ八分許、濶サ六分許、厚サ一二分、肌粗ク灰

白色、中ニ仁アリ、コレヲ臧バ聲アリ、仁ヲトリ藥ニ入ル、又生食スベシ、次條ノ番木鼈ニ對シテ土

木鼈ト云、土ハ本土ノ義、唐山ニ産スル故ナリ、